

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3071000289		
法人名	株式会社 はるす		
事業所名	グループホームはるすのお家 やまぶきの里		
所在地	和歌山県橋本市菖蒲谷979-1		
自己評価作成日	平成24年5月8日	評価結果市町村受理日	平成24年9月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3071000289&SCD=320&PCD=30
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル		
訪問調査日	平成24年6月28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

豊かな自然の中、穏やかに暮らしていただける環境に恵まれています。春には筍を堀り、入居者様・スタッフとで美味しく食します。セラピー犬のアキコが看板娘で、入居者様・スタッフの心を癒してくれます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当該ホームは、開設より11年目を迎え運営推進会議の開催に向けた取り組みには、市や地域包括支援センター、社会福祉協議会など行政も運営推進会議の開催を推進し、また、ホームの現状を伝える中で行政と良好な関係が築かれています。職員も利用者と同じ空間を共有し家族のように生活していく中で、コミュニケーションやふれあいを通し、利用者・家族・職員との関係作り重点を置き、家族のように家庭的な雰囲気を作りながら利用者の側に寄り添い支援しています。男性利用者も料理の味見をしたり調理を見守っている場面があり、職員は利用者が見つけ生活の中で活かしていくことで、個々の利用者のライフスタイルを大切にケアを実践し、自立支援を謳った理念を意識し振り返るよう努めています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ユニットミーティング等で理念の共有をし、実践に向けて取り組んでいる	法人の理念を基に、ユニットごとに理念を掲げています。個々の利用者のできる事に目を向け、寄り添う支援を提供していきたいとの思いを込め作られた理念をもとに、職員は利用者の出来ることを引き出すために、様々な努力を行っています。ミーティング等で話し合いながら実践に繋がっています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入っているが、なかなか参加できていない	ホームで飼っている犬の散歩途中に犬を介して顔なじみとなった方がいたり、近隣住民や小学生と挨拶を交わしています。小学生の職業体験の受け入れから利用者の学校訪問へと繋がり、運動会にも参加する予定です。又、近隣の方からは、「サツマイモの収穫を手伝って」と声をかけがある等地域との交流が深まっています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎年「いきいきシニアリーダーカレッジ」の研修の受け入れを行っている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	開催できていない	今年度は、運営推進会議の開催に至っていません。今後、家族の参加を得るための働きかけを工夫したり、職員も意識して開催に向けた取り組みをしていけるよう話し合っています。	行政は開催に関して協力的である環境を活かし、先ず、2ヶ月に1回開催されることを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	行政手続きなどで市担当者と接し、相談等も積極的に行い、関係を築いている	相談事やホームの実情について、直接市を訪れ担当者と関わりホームの実態を伝えています。運営推進会議の開催に向けた取り組みについて意見も出される等、良好な関係が築かれています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員一人ひとりが理解し、緊急やむを得ない場合以外は身体拘束を行わないケアに取り組んでいる	ユニット間や各玄関の出入り口は、鍵がかけられておらず、自由に出入りすることが出来ます。門扉は施錠していますが、門扉まで行き外に行きたい様子が見られた時は職員も付き添っています。入職時に言葉による拘束も含め身体拘束をしないケアについて説明して理解してもらっています。も、不適切な対応に関しては、その都度注意合っています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員間でお互いに声を掛け合い、虐待防止に努めている		

グループホームはるすのお家(やまぶきの里)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域包括支援センター・社会福祉協議会の職員と連携し、必要に応じて活用できるよう支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には担当者が細かく説明を行い、納得していただいている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様より相談があれば対応している(例: 家族さまより入居者さまの身体のこわばりについて相談があり、現在訪問マッサージを週3回受けている)	家族の面会時や電話、自宅へ訪問し、言い易い雰囲気作りを心がけ、ホーム長や管理者に直接話せるように対応しています。家族の来訪時に、味見をしながら食事の味付けについての意見がだされるなど、些細なことでも言いやすいような関係が築かれ、出された意見はサービスの向上に活かしています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	提案や意見があれば、管理者を通して本社へ伝えている	月1回のミーティングやミニカンファレンスなどで職員の意見を聞いています。個別に意見や要望を管理者に言うことがあったり、また管理者から言いやすい雰囲気を作り声をかけ意見を聞くようにもしています。職員から、休憩時間について意見が出され変更するなど、運営に活かせるように努めています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課の際面談を行う。随時の面談も行っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新しいスタッフには必ず一人付き指導を行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ケアネット和歌山に参加している。た事業者のケアマネージャーや管理者と定期的に交流を行っている		

グループホームはるすのお家(やまぶきの里)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	コミュニケーションを大切にし、不安や心配事、要望を感じ取り、過去の生活歴等を把握し、信頼関係を築くよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前より面談等で悩み・不安を聞き取り、入居後も話し合いの場を設け、関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアプランをみていただき、サービス内容について意見・要望を聞き、必要としている支援を見極めるよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の出来る事・得意な事を活かし、役割を持って生活していただけるよう支援している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	その都度家族様と話し合いながら、一緒に支えていける		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来ていただいた際には、また来ていただけるよう声かけを行い、働きかけている	昔の近隣に住んでいた方が、訪問してくれることもあります。家族の協力で墓参りや法事、馴染みの美容院や自宅の畑へ行ったり、自宅へ外泊するなど、馴染みの人や場との関係が継続出来るように支援しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の人間関係を把握し、スタッフが間に入りながら、良い関係を築けるよう支援している		

グループホームはるすのお家(やまぶきの里)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族様の要望があれば必要に応じて支援している		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人や家族様より要望・意向を聞き取り、その人らしい生活ができるよう、希望に添えるケアに努めている	入居時は、申し込み書やフェイスシートの基本情報をもとに思いを把握しています。入居後は、関わりの中で日々の行動や発した言葉を個人日誌に記入し、思いの把握に努めています。困難時は、顔色や表情、行動などから思いを推測し、家族にも聞きながら検討し思いを把握しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴・現在の趣味・好きな事を知り、より良い生活ができるよう支援している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別の生活リズムに配慮したケアをおこなっている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニットミーティングで個々のケアについて話し合うが、介護計画には反映されていない	月1回ミーティングを開き職員の意見を聞き、医師や訪問看護師の意見も反映しながら、介護計画を作成しています。3か月ごとにモニタリングと見直しを行っています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日日誌に記録し、ミニカンファレンス・ユニットミーティングにて情報を共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療連携体制により24時間健康管理を行い、急な通院などは、家族様に連絡し相談している		

グループホームはるすのお家(やまぶきの里)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの受け入れを行っている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時、かかりつけ医の有無を確認し、本人・家族様の意向を尊重している。主治医を変更する際もきちんと説明を行っている	入居前のかかりつけ医への受診も可能であることを説明し、受診は家族に対応してもらっています。協力医は週2回の往診があり、必要時に歯科、眼科の往診を受ける事ができます。週1回の訪問看護師による訪問の他、毎日ファックスで情報交換をし24時間連絡がとれる体制が築かれています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的に訪問看護師の訪問に加え、毎日状態をFAXにて報告している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	管理者を中心に医療機関と連絡を密にとり、情報交換や連携に努めている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族様にターミナルケアの説明を行い、家族様・主治医に同意書に署名・捺印していただく。ケアについても家族様・主治医・訪問看護・職員間で情報を共有し、ケアにあたっている	入居時に看取り指針について説明をしています。重度化や看取りの時期について、早い段階から主治医と家族との話し合いが行われ、訪問看護師と連携を取りながら、ホームで出来る支援に取り組んでいます。また、ホームでの看取りの経験を活かしながら、意欲的に取り組んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルはあるが、スタッフ全員に浸透しているとは言えない		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は行っているが、地域との連携はとれていない	年1回、夜間を想定して自主訓練を実施し、火元を決め避難場所や避難経路の確認などを行っています。まだ地域との連携に至っていません。今後、消防署へ働きかけ、年2回消防訓練をする予定です。	運営推進会議の議題にあげるなど、地域の消防団への呼びかけ、地域との協力体制に向けて取り組まれてはどうか。

グループホームはるすのお家(やまぶきの里)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その場の状況に応じた声かけを行い、声のトーンにも配慮している。また、自尊心を傷つけないよう努めている	排泄時の声のかけ方や名前の呼び方、暮らしの中でのマナー等を具体的に指導し、一人ひとりの尊厳を大切にされた対応を心掛けています。新人職員には、個別で声かけの仕方や対応方法について説明をし、不適切な時は注意をしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	選んでいただく場面を大切にしている(衣服等)		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴や就寝の時間など、できるだけ希望に沿う様支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自己決定を尊重し、意思疎通困難な方には家族等から本人の好みを聞き、その人らしい身だしなみができるよう支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたい物を会話の中から聞き出し、メニューに反映している。本人の状態を考慮し、準備や片づけを一緒に行っている	利用者の好みを取り入れた献立を考え、一緒に買い物に出かけています。男性の方は、カウンターから調理をしている所を見ながら味見をしてもらっています。下準備や味付け、テーブル拭きなど出来る事を職員と一緒にしています。食事中は声をかけながら楽しく食事ができるように支援しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事摂取量を表に記入し、量が少ない方には栄養補助食品を摂っていただくなどし、状態に応じた支援を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に合った歯ブラシを使用し、口腔ケアを行っている。週一回歯科の訪問がある(任意)		

グループホームはるすのお家(やまぶきの里)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	こまめに声かけを行い、排泄チェック表でリズムを把握し、できるだけトイレで排泄できるよう支援している	個々の排泄パターンを把握しながら、尿意を訴えられない利用者には、仕草を観察し、見守り、声をかけながらトイレで排泄が出来るように支援しています。放尿していた方が、ポータブルからトイレでの排泄と変化した利用者もいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取に留意し、バランスのよい食事を心がけ、入浴時に腹部マッサージを行うなどして自然排便できるよう心がけている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	自己決定を尊重し、ゆとりをもって入浴していただけるよう支援している	利用者の希望に合わせて、毎日、いつでも入浴可能となっています。19:00頃から入浴する方や毎日入浴される方にも対応しています。拒否の方には声かけの仕方を工夫したり、体調に合わせて足浴、清拭など行っています。湯船につかることで、歌を歌って楽しんだり、リラックスできるよう支援しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室内の温度・湿度に配慮し、快適に過ごしていただけるよう支援している。また、入居時には本人の使用していた家具等の持ち込みをお願いしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬手帳や処方箋を活用している。変わったことがあればその都度訪問看護師や主治医に報告相談を行っている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	酒・タバコについては主治医と相談し、許可があればスタッフ見守りの元可能。洗濯物をたたむなど、無理のない程度でしていただく		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	できるだけ出かける事ができるよう支援している	ホームで飼っている犬の散歩(朝・昼・夕)を利用者と一緒に行ったり、ドライブを兼ね車の洗車、食材の買い物、季節ごとの花見などの外出支援を行っています。ホーム敷地内は広く、いたるところにベンチが置かれ、自由に外に出て外気を感じることが出来ます。	

グループホームはるすのお家(やまぶきの里)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望されている(管理できる)方には所持していただき、本人・家族の意向でホームにてお預かりしている方もおられる		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があればその都度対応している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースの温度・湿度に配慮し、快適に過ごせるよう配慮している。風呂やトイレには目印を付けるなどし混乱を防止している。	玄関の下駄箱に生花を飾り、椅子を置き寛げる様に工夫しています。壁に利用者の撮影された写真や手作りの作品が飾られています。リビングのすぐ外の自然に囲まれた竹林を眺めながらソファに座り、テレビを見ながら利用者はゆったりと過ごされています。台所からの調理の匂いや音を楽しみ、生活感や季節感が感じることが出来る空間となっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室・リビング・ダイニング・和室・屋外のベンチ・他ユニットなどで思い思いの場所で過ごしておられる		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に馴染みの物や写真・使用していた家具などの持ち込みをお願いしている	自分の部屋らしくなるように馴染みの家具が持ち込まれ、家族と一緒にレイアウトされています。テレビ、ワープロや地図、本、仏壇、敷物などが置かれ、その人らしい居室となっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車いすトイレ有り。廊下・トイレ・浴室には手すりを設置。		